

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約を締結 ～当社のSDGs目標達成への取り組みを金融機関にて評価～

旭松食品株式会社（代表取締役社長：木下博隆）は、株式会社八十二銀行（頭取：松下 正樹）と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）」の融資契約を締結しました。

※企業活動が経済・環境・社会に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を金融機関が包括的に分析・評価し、当該活動を継続的に支援することを目的とした融資であり、企業の活動、製品、サービスによるSDGs達成への貢献を評価指標として活用し、情報開示することが特徴です。なお、金融機関による評価については、株式会社日本格付研究所（JCR）から、評価にかかる手続きのポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性について、第三者意見を取得しています。

当社は、SDGsの達成に向け施策を推進し、企業活動を通じて持続可能な社会への課題解決に取り組んでまいります。

インパクト評価の概要（詳細は「評価書」をご参照ください）

インパ°外	目標・テーマ	KPI	関連するSDG s
<社会面> 食糧	安全で満足度の高い製品の提供	①凍豆腐の GLOBAL G.A.P.認証大豆の使用率 100%継続 ②FSSC22000 の認証維持 ③ASIA GAP の認証維持	
<社会面> 保健・衛生	快適で健康な食生活の追求	研究成果の公表、毎年度 1 件以上	 
<社会面> 雇用	地域の雇用創出	年間延べ作業従事者 200 名以上の維持	  
<社会面> 文化・伝統	地域食・伝統食の伝承	地域特産品「南信州ブランド」のアイテム数増加 新アイテム発売数：毎年度 2 アイテム	    
<経済面> 包摂的で健全な経済	障がい者の社会参画への支援	年間延べ作業従事者 200 名以上の維持	  
<社会面> 保健・衛生	安全で満足度の高い製品の提供	①凍豆腐の GLOBAL G.A.P.認証大豆の使用率 100%継続 ②FSSC22000 の認証維持 ③ASIA GAP の認証維持	

バリエーション	目標・テーマ	KPI	関連するSDGs
<社会面> 雇用	①従業員の健康向上 ②ディーセントワーク（働きがい）の実践	①健康経営優良法人の認定継続 （2021年3月大規模法人部門 新規認定、継続中） ②生産性の向上 （1）月間所定外労働平均時間10時間 （2）年次有給休暇平均取得率 60%	
<環境面> 資源効率・安全性	非再生資源の使用量削減	森林認証素材（FSC®認証紙）紙包材の全量使用継続	 
<環境面> 廃棄物	廃棄物の管理および削減	プラスチック蓋使用中の 29 アイテム （2022年3月末現在）について、 これらのプラスチック蓋を全廃する。	  

（参考）

2022年9月29日 株式会社八十二銀行ニュースレター

<https://www.82bank.co.jp/release/2022/index.html>

2022年9月29日 一般財団法人長野経済研究所プレスリリース

<http://www.neri.or.jp/www/genre/1458657769666/index.html>

2022年9月29日 株式会社日本格付研究所ニュースリリース

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

■お問い合わせ先 旭松食品(株) 経理課 反尾(あぜお) TEL : 06-3605-3109